

酸化物のテラヘルツ光物性とデバイス応用への展望
Terahertz optical properties of oxides
and the perspective for device applications

開催日時：2017年 9月6日（水） 13:30～17:30

テラヘルツ光は高速無線通信や非破壊検査への応用が注目を集めています。半導体等を用いた高度なテラヘルツ光デバイスの開発が進んでいる一方、酸化物材料では、格子振動、スピン励起、超伝導などテラヘルツ光に関連する様々な物性が研究されています。本シンポジウムは、このようなテラヘルツ光物性からデバイス応用まで多方面の方にご講演をいただくことで、様々な材料の特徴を生かしたテラヘルツ光応用を考える機会になることを目的とし、企画されました。皆様の参加をお待ちしております。

基調講演（60分）、講演テーマ

◆斗内 政吉（大阪大）

テラヘルツ放射顕微鏡による酸化物および関連物質の評価

招待講演（アイウエオ順）、講演テーマ

◆片山 郁文（横浜国立大）

高強度テラヘルツ電場による電子・イオン制御

◆門脇 和男（筑波大）

高温超伝導テラヘルツ発振デバイスの実用化と将来展望

◆佐藤 琢哉（九州大）

反強磁性体・フェリ磁性体酸化物における光パルスを用いた
テラヘルツ・マグノン励起

◆永妻 忠夫（大阪大）

テラヘルツ応用に向けた半導体光・電子デバイスの最近の進展

◆服部 梓（大阪大）

THz時間分解分光による強相関マンガン酸化物ナノ電子相の
伝導特性評価

企画：機能性酸化物研究会（<http://green-innovation.jp/grefon/>）

世話人：小塚 裕介（代表世話人、東京大）、田中 秀和（大阪大）、

組頭 広志（高エネ研）、秋永 広幸（産総研）、松野 丈夫（理研）、
内藤 泰久（産総研）、木下 健太郎（東理大）、高橋 竜太（東京大）